

# 令和元年度いばらき成長産業振興協議会 総会次第

日時：令和元年7月3日（水）

14：15～14：45

場所：水戸京成ホテル 2F「瑠璃」

## 1 開 会

2 挨拶 いばらき成長産業振興協議会会長 宮田 武雄

## 3 議 事

第1号報告 平成30年度事業報告

第1号議案 令和元年度事業計画（案）

第2号議案 役員選任（案）

## 4 閉 会

### 【配布物】

- ・令和元年度いばらき成長産業振興協議会総会・交流会 スケジュール
- ・令和元年度いばらき成長産業振興協議会総会 付議事項
  - 第1号報告 平成30年度事業報告
  - 第1号議案 令和元年度事業計画（案）
  - 第2号議案 役員選任（案）
- ・資料1 出席者名簿（役員・顧問・オブザーバー）
- ・資料2 いばらき成長産業振興協議会の今後の取組と課題
- ・資料3 いばらき成長産業振興協議会規約
- ・資料4 会員企業による取組事例の発表について
- ・資料5 特別講演会（講師プロフィール）
- ・資料6 交流会 企業展示一覧及び配置図

令和元年度 いばらき成長産業振興協議会 総会・交流会 スケジュール

1 日時 令和元年7月3日(水) 14:15~18:25

2 場所 水戸京成ホテル(水戸市三の丸1-4-73 TEL:029-226-3111)

3 スケジュール

時間	内容	会場
14:15~14:45 (30分)	総会 ・第1号報告 平成30年度事業報告 ・第1号議案 令和元年度事業計画(案) ・第2号議案 役員選任(案)	2F 瑠璃 (東)
14:45~15:40 (55分)	○会員企業による取組事例紹介 ・次世代自動車研究会 ・環境・新エネルギー研究会 ・健康・医療機器研究会 ・食品研究会 ・IT・次世代技術研究会 ○情報提供:次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業の紹介	2F 瑠璃 (東)
15:40~15:50 (10分)	休憩	
15:50~17:10 (80分)	特別講演 ・特別講演I 演題:「AI・IoTの最新動向」 ~メーカーとユーザーの事例から~ 講師:株式会社日刊工業新聞社 編集局次長兼第一産業部長 大崎 弘江(おおさき ひろえ)氏 ・特別講演II 演題:「マグネシウムで世界を変える」 ~ジリ貧だった町工場がマグちゃんの大成功で上場をめざす~ 講師:株式会社宮本製作所 代表取締役社長 宮本 隆(みやもと たかし)氏	2F 瑠璃 (東)
17:10~17:25 (15分)	(休憩・移動)	
17:25~18:25 (60分)	交流会 ・挨拶 ・歓談 (協議会会員企業の取り組み事例を紹介するパネル展示等)	2F 瑠璃 (西)

令和元年度いばらき成長産業振興協議会総会 付議事項

第1号報告 平成30年度事業報告

第1号議案 令和元年度事業計画（案）

第2号議案 役員選任（案）

## 平成30年度事業報告

平成30年度のいばらき成長産業振興協議会は、会員企業の成長分野への進出や新製品開発等を進めるため、大手企業等との交流の機会や最新の技術に係る講演会等を実施した。また、コーディネータによる企業間の橋渡しや大手企業等への技術提案、競争的資金獲得に係る支援等を行ったほか、原子力関連施設の廃止措置等における中小企業のビジネス参入可能性調査を行った。

この結果、試作品開発や製品化の実現が22件、受注・取引開始につながったものが17件という成果を挙げる事ができた。

なお、平成30年度の事業費は41,782千円であり、茨城県から株式会社つくば研究支援センターに委託して実施した。

## 1 平成30年度事業実績総括表

事業内容等	実績
■ 大手企業等との交流（マッチング会、工場見学会等）	23回
■ 情報提供（講演会等）	25回
■ 会員企業間、研究機関等への橋渡し	144件
■ 大手企業等への技術提案	138件
■ 共同研究	5件
■ 競争的資金獲得件数	15件
■ 試作・製品化	22件
■ 受注・取引開始	17件

## 2 平成30年度における各研究会等の主な取組内容

### (1) 次世代自動車研究会

#### 【実績・成果】

項目	回数等	主な内容
■大手企業等との交流	4回	・深井製作所(株)本社大月工場見学交流会 ・ジェイ・バス(株)工場見学交流会
■情報提供	9回	・画像診断による不良排除セミナー ・自動運転最新研究動向セミナー
■会員企業間, 研究機関等への橋渡し	11件	・射出成型について ・通電端子部品の設計・製造
■大手企業等への技術提案	31件	・アルミダイキャスト成形品 ・セラミックス焼結品
■競争的資金の獲得	2件	・外注業務の内製化と先端測定機導入による次世代自動車用基幹部品の増産に対応した低コスト・高効率生産方式の構築 ・先進式測定機器導入による複合形状加工品の高精度・高効率検査プロセスの構築
■受注・取引開始	2件	・機械加工部品(シャフト) ・精密加工用ツールの再研磨

#### 【備考】

- 会員企業の技術力をPRし、新たな受注獲得につなげるため、自動車産業に関する企業が一堂に会する大型展示会「オートモーティブワールド2019」(東京ビッグサイト)に会員企業11社で出展。
- マッチングサイト「Linkers」を活用し、ピックアップした案件の橋渡しを実施。

### (2) 環境・新エネルギー研究会

#### 【実績・成果】

項目	回数等	主な内容
■大手企業等との交流	3回	・(株)日立パワーソリューションズ大沼工場見学会 ・森林総合研究所ナノセルロースファイバー製造プラント見学・意見交換会
■情報提供	6回	・「太陽光パネルの最先端リサイクル技術と今後の展開」セミナー ・「再生可能エネルギーの現状と将来」セミナー
■会員企業間, 研究機関等への橋渡し	42件	・断熱性の塗料について ・風況調査用設備のビジネスパートナー橋渡し
■大手企業等への技術提案	8件	・ファインバブル研削加工クーラント ・省エネ提案
■共同研究	2件	・小型給湯器用ACファンのデジタル制御ドライバーの開発 ・ペレット給湯器の可視化燃焼器の開発と内部流れの観察
■競争的資金の獲得	2件	・燃焼ボイラーの制御ソフト ・小型分散バイオマス・廃棄物による化石燃料フリー熱電供給装置の開発

■試作・製品化	4件	・マイナスイオン発生器付 LED ライト ・ファインバブル発生器 HELIX ノズル
■受注・取引開始	2件	・非常時対応電源システム

【備考】

- 6つの部会を設け、テーマ・目的に応じたきめ細やかな支援活動を展開

ビジネス部会	研究部会
風力発電メンテナンスビジネス部会	ファインバブル研究部会
再生可能エネルギービジネス部会	小型風力研究部会
リサイクルビジネス部会	セルロースナノファイバー研究部会

- 産業技術連携推進会議（産総研）の環境・エネルギー関連の分科会と共催で、会員企業12社による技術力PRと研究者の成果発表2件、及び意見交換会を実施。

### （3）健康・医療機器研究会

【実績・成果】

項目	回数等	主な内容
■大手企業等との交流	5回	・筑波記念病院とのニーズマッチング ・筑波大学附属病院現場見学会・交流会
■情報提供	2回	・介護リハビリロボットの現状と今後の動向及びロボット技術の講演会 ・特許・知的財産に関する講演会
■会員企業間，研究機関等への橋渡し	15件	・ディスプレイ製品の橋渡し ・褥瘡防止用製品の改善
■大手企業等への技術提案	58件	・手術後の臥位保持に使用する枕 ・骨関節モデル教材の提案
■競争的資金の獲得	6件	・低侵襲手術向けトランスバース及び手術機器 ・ウェアラブルセンサーを用いたX線画像学習システム
■試作・製品化	9件	・口腔ケア用光るスポンジブラシ ・リンパ浮腫ドレナージトレーニングシミュレータ
■受注・取引開始	2件	・放射線水ファントム ・測定データ総合プログラム

【備考】

- 県立医療大学と連携した機器開発を進めており、同大のニーズと企業とのマッチングを実施するとともに、医工連携開発会議を開催し、開発案件をフォロー。
- 平成30年度から筑波記念病院と連携し、同病院のニーズと企業とのマッチングを実施。各案件につきフォロー。
- グローバルニッチトップ企業育成促進事業と連携し、会員企業の新製品開発を支援。

### （4）食品研究会

【実績・成果】

項目	回数等	主な内容
■大手企業等との交流	4回	・イトウ製菓工場及び新事業店舗見学・マッチング会 ・食品マッチングプラットフォーム会（全3回）

■情報提供	2回	・茨城大学農学部教員による食品産業支援促進セミナー ・ファインバブルによる洗浄・殺菌の効果セミナー
■会員企業間，研究機関等への橋渡し	67件	・高付加価値製品の紹介 ・生産性の高い製造機器の紹介 ・原料素材のマッチング活動
■大手企業等への技術提案	32件	・こんにゃくを素材とした可食フィルムの提案 ・ほしいも・ほしいもパウダーの活用提案 等
■共同研究	3件	・食品工場PR動画の作成について（販路拡大） ・フリーズドライ納豆製造方法変化による機能性成分の生業に係る研究
■競争的資金の獲得	5件	・消費者，バイヤーの求める高品質加工品の開発事業 ・製品の海外販路拡大事業 等
■試作・製品化	9件	・梅ぷりん ・麴ペーストを用いたラスク 等
■受注・取引開始	8件	・キャビア（ふるさと納税返礼品採用） ・スイーツ専用パンの供給 等

#### 【備考】

- 販路拡大支援として大学のデザイン系部門と協力して企業PR動画の作成支援など行った。
- 大学とマッチングを行い製品の栄養成分評価支援など行った。
- 新技術の提案に関しては産業技術イノベーションセンターの協力で科学的データ等も示しながら提案活動を行った。

### （５）次世代技術研究会

#### 【実績・成果】

項目	回数等	主な内容
■大手企業等との交流	2回	・ダイドー東京ロボット館見学会 ・生産管理システムマッチング会
■情報提供	2回	・IoTにおけるセンサーセミナー ・ドローン活用ビジネスセミナー
■会員企業間，研究機関等への橋渡し	9件	・生産管理ソフトウェアの提案 ・工程管理システムの提案 等
■大手企業等への技術提案	9件	・生産管理ソフトウェアの提案 ・工程管理システムの提案 等
■受注・取引開始	3件	・生産管理ソフトウェアの導入 ・生産管理システムの導入 等

#### 【備考】

- IoTなどの次世代技術に対する理解を深めるため，体験型ワークショップを開催。
- IT関連の会員企業が保有する生産管理ソリューションを紹介する場を設け，生産管理システム導入を検討する企業とのマッチングを図った。

## (6) 新規ビジネス分野の開拓と参入支援

### 【実績・成果】

項目	回数等	主な内容
■大手企業等との交流	5回	・JMTR 見学会 ・JMTR 解体課題等に関する技術提案
■情報提供	4回	・東海第一原子力発電所見学会 ・原子力施設の廃止措置と必要な技術について
■技術力向上支援	22件	・廃止措置参入に向けたアドバイス

### 【備考】

- 廃止措置を計画している JMTR の見学会を実施するとともに、JMTR を所管している JAEA に対して技術提案を行った。
- 原子力施設の廃止措置分野に参入意欲のある企業を訪問し、廃止措置に関する技術力を調査するとともに参入に向けたアドバイスを行った。

【参考】 いばらき成長産業振興協議会事業実績（累計，H22～H30）

事業内容等	実績
■大手企業等との交流（マッチング会，工場見学会等）	164回
■情報提供（講演会等）	203回
■会員企業間，研究機関等への橋渡し	821件
■大手企業等への技術提案	1,109件
■共同研究	62件
■競争的資金獲得件数	116件
■試作・製品化	125件
■受注・取引開始	109件



## 令和元年度事業計画（案）

## 1 事業方針

- ・ 受注・販路開拓・新製品開発につながるようなマッチング・開発支援などを重視し、商談会・工場見学会等の交流機会を提供
- ・ 会員のニーズや最新の技術・市場動向を踏まえた情報提供・勉強会・セミナーの実施
- ・ 各研究会を横断した勉強会等の開催による異分野との交流・情報共有
- ・ 年間を通じ、コーディネータ等による会員企業間や研究者等との橋渡しなどのきめ細やかな支援を行うとともに、コーディネータ間で情報を共有し、企業間の結びつきを強化
- ・ 産学官金がタッグを組んだ、ビジネスにつながる事業展開の推進
- ・ 市場規模が年々拡大している IT 分野について、「次世代技術研究会」を「IT・次世代技術研究会」と改称し、研究会内に「IT コンソーシアム」を設置。（コーディネータ 1 名を配置）

## 2 各分野ごとの主な取組内容

## (1) 次世代自動車研究会

- ・ 自動運転やシェアリングなどがもたらすモビリティ革命（MaaS: Mobility as a Service）など、自動車のみならず変革する社会に関する情報提供を実施する。電動化（脱エンジン）が進んでも車体自体が無くなることはなく、航続距離延長などより一層の軽量化に向けて樹脂等の新素材が多用されていくことに対応し、従来の摩擦攪拌接合を、マルチマテリアル化と加工・接合技術に拡充して、セミナーを実施する。
- ・ 新たな受注獲得を支援するため、大手自動車関連企業の工場見学・交流会を実施するほか、会員企業の生産性向上を支援するため、会員企業が保有する技術を紹介し、課題をもつ企業とのマッチング・連携を図る取組を実施する。
- ・ 製造現場の効率化などに関して、機械学習やロボットピッキングなどについて、その利活用を実際に体験する少人数の実習を実施する。（産業技術イノベーションセンター、IT・次世代技術研究会と連携）

## (2) 環境・新エネルギー研究会

- ・ 会員企業の技術力向上及びビジネス機会創出につなげるため、テーマ・目的別の部会活動を時流に合わせてテーマ等を見直し、きめ細やかな支援活動を展開する。
- ・ 大手風力発電機器メーカーのソリューションサービス事業強化への転換にいち早く対応し、従来からの「風力発電の保守・メンテナンス」分野の取組を強化する。保守・メンテナンスや付帯作業等、幅広く会員企業の受注を支援する。また、産学連携体制による技術の高度化を図る。
- ・ 引き続き、関東経産局（広域関東圏水素・燃料電池ネットワーク形成事業）や県産業戦略部技術振興局科学技術振興課（いばらき水素利用ネットワーク）などの取組と連携するなど、会員企業の水素利活用分野等への参入を支援する。

### (3) 健康・医療機器研究会

- ・ 医療大学や筑波記念病院に加え、新たな病院・施設等のニーズを掘り起こし、マッチングを強化していく。
- ・ 当研究会及び連携事業である GNT 事業で開発した機器等を、東京ビッグサイト等で開催される大規模展示会に出展し、取引対象を全国に広げる。
- ・ 国は医療介護総合確保推進法に基づき、在宅医療・介護の推進に注力しており、当該分野についても、成長市場として見据えつつ、在宅医療・介護の現場ニーズ等に係る情報提供を行っていく。
- ・ 介護ロボットの開発・製品化に係る企業、大学、研究機関とのコンソーシアムの立ち上げを検討していく。

### (4) 食品研究会

- ・ 昨年度まで実施した「食品マッチングプラットフォーム」を基礎として、特定のテーマに基づき、マッチング活動・講演会・セミナー・見学会等を総合的に実施する「食品オープンプラットフォーム」に発展させる。
- ・ 食品研究会に所属する企業のニーズ・シーズを他の研究会と共有し、成長分野を横断した新商品・技術の開発や販路の拡大につなげる。
- ・ 個別の継続案件についてはコーディネータが引き続きフォローしていくとともに、プラットフォーム活動等を通じて得られたニーズ・シーズ等につき、他研究会も含め、幅広く橋渡しを行い、技術力・商品力の向上を図る。

### (5) IT・次世代技術研究会

- ・ 市場規模が年々拡大している IT 分野について、「次世代技術研究会」を「IT・次世代技術研究会」と改称し、研究会内に「IT コンソーシアム」を設置。(コーディネータ 1 名を配置)
- ・ 次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業や、産業技術イノベーションセンター、IoT 推進ラボなどと連携をしながら、県内の IT 産業の活性化を図る。
- ・ IoT・ロボット等の導入の際に重要となる省力化機器等について、会員企業間等の受注マッチングの場を設け、販路拡大を支援するとともに、企業の IoT・ロボット導入を支援する。
- ・ IoT, ロボット, AI 等の先端技術動向や、IoT 推進ラボの関係機関で実施するセミナー等のイベント案内について、会員への情報共有を図る。
- ・ 製造現場へのロボットや IoT 導入に際し、ロボットや周辺装置の選定からシステム全体の調整までを担うロボットシステムインテグレーターの需要が急増しているため、ロボットシステムインテグレートビジネスへの新規参入、事業拡大に向け、経産省とロボット工業会で纏めたスキル標準に沿って基礎的な知識等の勉強会を実施する。

### (6) その他(新規ビジネス分野・分野横断的な取組等)

- ・ 新規ビジネス分野への参入の機会を提供するため、今後需要が見込まれる原子力関連施設の解体等につき、施設の見学会や廃炉の現状等に係る情報提供などを行う。また、日本原子力研究開発機構等へのヒアリングなどを通じ、技術的な課題やニーズなどに関する情報を収集し、県内企業の技術シーズを提案する。
- ・ 県内の金融機関等が開催するビジネス商談会や展示会等につき、会員企業の参加・出展等の促進を図る。

## 令和元年度 いばらき成長産業振興協議会 役員選任（案）

区分	団体名	職名	氏名	担当研究会	備考
1 会長	茨城県立産業技術短期大学校	学校長	宮田 武雄		
2 副会長	(株)日立製作所 日立事業所	シニアアドバイザー	長谷川 修平		新任
3 副会長	(株)三友製作所	代表取締役	加藤木 克也		
4 副会長	茨城県 産業戦略部	部長	小泉 元伸		
5 運営委員	(株)宮本製作所	代表取締役社長	宮本 隆	次世代自動車	
6 運営委員	(株)協立製作所	代表取締役	高橋 日出男	次世代自動車	
7 運営委員	北進産業(株)	代表取締役会長	北島 富佐雄	環境・新エネルギー	
8 運営委員	(株)宮本製作所	代表取締役	宮本 洋治	環境・新エネルギー	
9 運営委員	(株)エムテック	代表取締役	松木 徹	健康・医療機器	
10 運営委員	(株)サンテクノ	代表取締役社長	西村 真理子	健康・医療機器	
11 運営委員	鹿島製菓(株)	代表取締役社長	大槻 和行	食品	新任
12 運営委員	だるま食品(株)	代表取締役	高野 正巳	食品	
13 運営委員	ペンギンシステム(株)	代表取締役社長	仁衛 琢磨	IT・次世代技術	
14 運営委員	(株)ユードム	代表取締役会長	皆川 藤孝	IT・次世代技術	
15 運営委員	茨城大学	研究・産学官連携機構 副機構長	金野 満	次世代自動車	
16 運営委員	産業技術総合研究所	イノベーション推進本部 地域連携推進部 関東地域 連携室 室長	鷹觜 利公	環境・新エネルギー	新任
17 運営委員	筑波大学	国際産学連携本部 技術移転マネージャー	和氣 泉	健康・医療機器	
18 運営委員	農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門	食品健康機能研究領域長	小堀 真珠子	食品	新任
19 運営委員	産業技術総合研究所	イノベーション推進本部 イノベーションコーディネータ	佐脇 政孝	IT・次世代技術	

※会長1名 副会長3名 運営委員15名（各研究会3名）